

平成 29 年度第 1 回阿賀野市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時 平成 29 年 6 月 29 日（木）午後 2 時～午後 3 時

場 所 阿賀野市役所 403 会議室

出席者 委員名簿のとおり

議 事

(1) 阿賀野市地域公共交通協議会規約の一部改正について

(2) 平成 28 年度事業報告について

(3) 平成 28 年度決算及び会計監査報告について

○ 意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。

(4) 平成 29 年度事業計画（案）について

○ 以下のとおり意見があり、原案のとおり承認されたが、デマンド交通実証実験については、8 月開催予定の第 2 回会議において、改めて協議することとなった。

(委員からの意見)

資料 4 「平成 29 年度 事業計画案」のデマンド交通実証実験について、昨年度の利用者アンケートによると、デマンド交通はあまりニーズがないという結果であるが、利用者数の実態からして、導入した方がいい地区もあると思う。ただし、デマンドを導入すれば現在の 100 円ではできなくなると思うので、デマンドを差別化して運賃設定できるのかについて考慮してもらいたい。

また、阿賀野市は、(デマンドが) うまくいっている地区と比べて (1 日の) ピーク時の利用者数が多いので、車両確保の問題が大きい。ピーク時に利用する車両とそれ以外の時間帯に使用する車両の問題が出てくるので、現在の委託業者も含めて協議してもらいたい。デマンドは委託業者の負担が大きく、委託業者の協力がなくともまず不可能である。それを 8 月までに調整できるのか。12 月の実証実験だけのために調整するであれば大丈夫だが、(本運行の) 下準備としてやっておいた方がいいのではないか。実証実験はなぜ 12 月なのか？

(宮腰委員)

まず、現在のデマンド実証実験の考え方についてであるが、ドアツードアではなく、停留所は既存の市営バス停留所を使い、運行ルートを定めない方式を採用したい。また、対象エリアは寺社線と駒林線のエリアで調整を始めているところである。

時期については、12月に設定しているが変更する場合もある。時期の確定は、もう少し調整が進んだ後になると思うが、こちらとしては年度内に実施したいと考えている。
(菅原事務局長)

確かにドアツードア型だと、おそらく破たんすると思う。デマンドだと、運賃は最低でも300円以上になると思うが、いくらでやるのか？(宮腰委員)

これから決定する。
(菅原事務局長)

試行だからやってみようという考えは非常にもったいない話。昨年アンケート調査もそうだが、やった方がいいが聞きたいところが聞けていない。今回どういったことをデータとして取りたいのかがわからない。駒林線での(デマンドは)非常にやりやすいとは思いますが、いいデータが取れるか、うまくいくかは見えないなという感じである。むしろやるのであれば、安田地域循環線などでスクールバス運用とセットでやってみるとか、安田地域循環線の空いている時間帯だけを運行している運行会社に試験運行してもらう方が利用者が増えるのではないかと。
(宮腰委員)

網形成計画と29年度事業の関連性がわかるようにした方がわかりやすいのではないかと思う。

パークアンドライド駐車場の利用状況調査について、計画上では安田インター駐車場で行うことについての記載はあるが、駅でもやることになったのはどのような目的か。また、年に3回調査するのは、季節ごとの利用状況を調査するためか。神山駅でもパークアンドライドをやっているのか。

(北陸信越運輸局 交通企画課 波多野代理)

駅については計画上の記載はないが、駅についても市として整備しているので、安田インター同様に調査対象とした。年間3回やるのは、季節によって利用状況が異なることが考えられるため、その把握のためにこのようなやり方と

した。神山駅ではパークアンドライドをやっており、実績としては1日あたり2～3台程度である。 (小林事務局員)

事業計画案について意見があったが、この取り扱いはどのようにするのか。 (田中会長)

いただいたご意見については、8月開催予定の第2回会議にて、改めて協議させていただきたい。 (小林事務局員)

(5) 生活交通確保維持改善計画について

○ 以下のとおり意見があり、計画の記載を一部修正することで承認された。

(委員からの意見)

資料5-4の3ページの14で「阿賀野市地域内フィーダー系統確保維持計画の変更(表1及び表2)について、全ての委員から合意が得られた。(予定)」とあるが、表2が添付されていない。表2はどのようなものか？

(佐藤(美)委員)

表2は、表1よりも詳細な内容が記載された表で、表1にある国庫補助額を算出するためのものであり、今回は添付していない。 (小林事務局員)

表2について何かがないと承認できないのではないか。 (佐藤(美)委員)

表2は表1の根拠資料という位置づけであるが、計画の変更自体に異論がないということであれば、「阿賀野市地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について、全ての委員から合意が得られた。(予定)」とすれば問題はない。

(小松委員)

ご意見のとおり変更して提出させていただく。 (小林事務局員)